

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール朝霞台		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児に楽しく通ってもらうこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の得意や好きを活かしたプログラム内容を考え、苦手にアプローチしていること</li> <li>・シール帳での次への期待感を提供したり、お子様のやってみたいというつぶやきの内容を、可能な限り次回以降に取り入れる事</li> </ul>	お子様や保護者様の要望を取り入れながら、お子様の発達段階に合っているかどうかの見極めも大切にしていきたい。
2	・保護者様のお話を丁寧に聞き取っていること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの時間などを活用し、保護者様の喜びや悩みに寄り添っている</li> <li>・家族支援加算での対応なども提案し、時間の提供を工夫している</li> <li>・地域資源の紹介や事業所間のつながり、相談員さんとの連携などみんなで支える姿勢を取っている</li> </ul>	療育を見ている時間の寄り添いは、希望されない方もいらっしゃるのでは今後は保護者様の要望の中で対応していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・専門性、特に言語面についての取り組み	言語面は生活に密接な分野なので、要望も出やすくまた成長の度合いも分かりやすい。感覚調整などの考え方よりも保護者様にとって切実である。	引き続き、言葉の発達における土台から成長の段階の説明を丁寧に言い、語彙数や概念などを具体的な数や表を用いるなどして成長を確認し合う事も工夫の一つだと感じる
2	ビルの2階という立地上、階段の利用がある。見送りの際、玄関の外に出てご挨拶をしているが、人・自転車などの往来もあり時間が掛かる事が危険にもつながるのではないかと危惧している。	階段は危険もあり付き添いをしたいが、挨拶は敷地内で行う事でスムーズな送り出しになるのではないかと。また、人目を気にされる方も利用者の中にはいらっしゃるかもしれない、その配慮にもなるのではないかと。	階段下駐輪スペースにて、挨拶の場所を作り、挨拶を中で済ませる。自転車の対応など必要に応じて玄関の外での対応も継続するが、基本的には敷地内での送りとする。